

第 2 部

施策の実施状況

○あけぼのプラン(第3次)各重点分野に係る施策の実施状況

1 政策・方針決定過程等への女性の参画の拡大

(1) 府の審議会委員等や管理職の女性比率の向上

京都府の審議会及び有識者会議等の委員や管理職の女性比率を、女性の登用目標に基づいて高める。

① 審議会及び有識者会議等における女性委員の登用(継続)(男女共同参画課)

府の政策・方針決定に女性の意見等を適切に反映させるため、積極的改善措置として、審議会及び有識者会議等の女性委員比率の目標を40%(法令等による職務指定者を除く)とし、女性委員の登用を図る。

② 多様な視点での防災対策(新規)(防災・原子力安全課)

防災会議の女性委員登用、地域防災計画への男女共同参画の視点の反映、女性視点での防災対策意見交換会の実施等。

平成26年度実施状況

- ・平成26年6月9日 京都府防災会議開催(うち女性委員6名出席)
- ・京都府地域防災計画の修正(平成25年度女性意見交換会の意見等を反映)
- ・平成26年度女性視点での防災対策意見交換会の開催(2月6日予定)

③ 女性職員の登用等(継続)(人事課)

女性職員の意欲と能力を府政に生かすため、積極的な採用・登用を図る。
知事部局においては女性役職者20%(平成22年度)の目標を平成20年4月に達成した。
女性管理職については、女性管理職比率11.0%(平成26年度)の目標に対し、平成26年度10.6%となっており、平成27年度に12%以上の達成に向け、取り組んでいる。

(2) 地域の人材育成や市町村企業等における女性の登用促進

地域で活躍する人材の育成や審議会等の女性委員比率を高める取組に関する助言など、市町村における女性の登用促進のための支援を行う。

① 女性リーダー育成事業(京都府女性の船)(継続)(男女共同参画課)

地域や職場でリーダーとなって活躍する女性を育成するため、公募した女性たちを北海道に派遣し、船上研修、訪問地研修を行った。

平成25年度実施結果	平成26年度実施状況
参加者数 99名	参加者数 97名

② 女性の登用促進のための団体等への働きかけ(継続)(男女共同参画課)

女性の登用が十分進んでいない分野の機関・団体等に対して、登用促進についての働きかけを行った。

③ 「輝く女性応援会議 in 京都」の開催(新規)(男女共同参画課)

社会全体で女性の活躍を応援する気運を醸成するため、経済・文化・教育など各界のリーダー、有識者等が女性の活躍について意見交換を行った。

平成 26 年度実施状況

日 時：平成 26 年 9 月 15 日

場 所：清水寺

内 容

○外国人ゲストと女性の活躍を推進する京都企業からの代表メンバーとの懇談

<海外ゲスト>

ジア・モディ (AZB & パートナース (法律事務所) 創設者兼代表 インド)

ノニ・スリ・アヤティ・ブルノモ

(ブルーバードグループホールディングス CEO インドネシア)

○シンポジウム「女性が輝く京都に向けて～社会全体の機運の醸成と人材育成～」

<パネリスト>

池坊 由紀 (華道家元池坊次期家元)

稲葉 カヨ (京都大学副学長)

立石 義雄 (京都商工会議所会頭・オムロン株式会社名誉会長)

山田 啓二 (京都府知事)

④ 「輝く女性応援京都会議」の開催(新規)(男女共同参画課)

企業等と行政の連携による女性の活躍の推進組織「輝く女性応援京都会議」の第 1 回会議を開催した。

平成 26 年度実施状況

日 時：平成 27 年 3 月 16 日

場 所：京都ホテルオークラ

内 容：現状と課題の報告

意見交換

行動宣言の採択

(3) 男女均等な能力向上やキャリア形成の機会の確保

アドバイザーの派遣等により、ワーク・ライフ・バランスの推進や、人事慣行の見直しなど、女性が働き続け、男女が均等に能力向上やキャリア形成できる機会が確保されるような職場の環境づくりを進める。

① ワーク・ライフ・バランスの推進(継続)(男女共同参画課)

府民一人ひとりが、ワーク・ライフ・バランスを実現できる豊かな社会を目指し、経営者団体、労働団体等と連携して効果的に推進した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 京都ワーク・ライフ・バランスセンターを拠点に、中小企業の取組や府民への啓発活動、地域参加を促進	(1) 京都ワーク・ライフ・バランスセンターを拠点に、中小企業の取組や府民への啓発活動、地域参加を促進
(2) ワーク・ライフ・バランス企業支援チームによる中小企業の取組支援 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度 宣言企業 623 社(累計 1,677 社) 認証企業 46 社(累計 155 社)	(2) ワーク・ライフ・バランス企業応援チームによる中小企業の取組支援(H26. 12 月末現在) 「京都モデル」ワーク・ライフ・バランス推進企業認証制度 宣言企業 240 社(累計 1,917 社) 認証企業 37 社(累計 192 社)
(3) 働き方の見直し支援 ・働き方の見直しのための専門家(社労士、中小企業診断士等)の派遣 28 社 ・多様な働き方のモデルとなる取組を実施する企業への経費補助 2 社	(3) 働き方の見直し支援 ・働き方の見直しのための専門家(社労士、中小企業診断士等)の派遣 29 社 (H26. 12 月末現在) ・多様な働き方のモデルとなる取組を実施する企業への経費補助 1 社 (H26. 12 月末現在)
(4) 中小企業経営者に対するワーク・ライフ・バランスストップセミナー 第 1 回 平成 25 年 8 月 5 日 参加企業数 17 社 参加者数 18 名 第 2 回 平成 25 年 11 月 22 日 参加企業数 22 社 参加者数 29 名	(4) 中小企業経営者に対するワーク・ライフ・バランスストップセミナー 第 1 回 平成 26 年 7 月 30 日 参加企業数 25 社 参加者数 26 名 第 2 回 平成 26 年 12 月 2 日 参加企業数 14 社 参加者数 14 名
(5) 京都ワーク・ライフ・バランスウィークの設定などによる府民への啓発活動	(5) 京都ワーク・ライフ・バランスウィークの設定などによる府民への啓発活動
(6) 地域団体、企業、大学等の連携による地域におけるワーク・ライフ・バランスの実践	(6) 京都ワーク・ライフ・バランスウィークの設定などによる府民への啓発活動
(7) 団塊世代のワーク・ライフ・バランス推進事業 南丹地域(第 1 回) 参加者数 85 名 南丹地域(第 2 回) 参加者数 69 名 丹後地域 参加者数 40 名	(7) 団塊世代のワーク・ライフ・バランス推進事業 第 1 回シンポジウム参加者数 33 名

② 働く女性応援事業(継続)(男女共同参画課)

企業における女性の就業継続やキャリアアップ(資格・能力等の修得)を支援するため、府内女性社員のネットワークを構築するとともに、モデルとなる先輩社員による後輩社員の支援を実施した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
会員登録数：331 名 (1) メンター講座 20 回実施 延べ参加者数 276 名 (2) 朝カフェ・昼カフェ・夜カフェ 23 回実施 延べ参加者数 324 名	会員登録数：104 名 (H26. 12 月末現在) メンター講座 (1) 京都市内 8 回実施 延べ参加者数 98 名 (2) 南部地域 2 回実施 延べ参加者数 3 名 (3) 北部地域 5 回実施 延べ参加者数 162 名

③ 京都女性活躍加速化事業(男女共同参画センター)(新規)(男女共同参画課)

京都府内企業における指導的地位(管理職)に占める女性の割合は依然として低い状況にあり、オール京都の団体が連携して取り組むことで女性の活躍を加速化させる基盤を構築する。

平成 26 年度実施状況
(1) 府内企業の女性活躍実態調査 (2) 活躍する女性・企業の見える化 ・活躍女性の取材、事例集・ホームページの作成 ・活躍女性講師による女子学生へのキャリアデザインセミナーの開催 (3) 管理職予備層の人材育成 ・管理職予備層へのリーダー養成講座の開催 ・企業女性活躍シンポジウムの開催 (4) 京都女性活躍推進会議の開催

(4) 専門職への女性の参画の推進

様々な分野の専門職への女性の参画を進め、医療機関や研究機関等におけるワーク・ライフ・バランスの推進や、女性医師等の子育て後の職場復帰を支援する。

① 福祉人材バンク事業(継続)(介護・地域福祉課)

「福祉人材バンク」(京都府社会福祉協議会内)を設置し、福祉人材に関する無料職業紹介及び福祉事業従事希望者に対する説明会、学生向け就職ガイダンス等を実施した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 無料職業紹介 センター求職者来所数 延べ 1,805 名 求職登録者数 2,253 名 あっせん件数 628 名 就職成立件数 260 名 (2) 説明会(福祉職場就職フェア) 開催回数 3 回 参加者数 1,543 名 就職内定者数 237 名 (3) 地域別福祉職場就職フェア 開催回数 1 回 参加者数 425 名 (4) 学生向け就職ガイダンス 開催回数 19 回 参加者数 699 名	継 続

② 医師確保対策事業(継続)(医療課)

医師の確保が困難な地域等における医療体制を確保するため、病・学・公が連携し、総合的な医師確保対策を実施した。

- (1) 地域医療支援センターの設置(医師の研修プログラムの作成等による医師確保)
- (2) 医師バンクの充実(中堅医師、指導医、若手医師の確保及び女性医師等の復職支援等)
- (3) 地域医療を担う若手医師の育成(地域医療確保奨学金制度実施及び地域医療を担う医学生育成)

③ 看護職離職防止対策・再就職促進事業(継続)(医療課)

看護師等の離職防止・定着化及び再就業を支援することにより、安全な医療体制に必要な看護職員を確保した。

④ 産科医等確保支援事業(継続)(医療課)

地域の救急及び産科医療を確保するため、産科医等に対する支援を実施するなど、地域医療体制の充実を図った。

⑤ しなやか女性医学研究者支援みやこモデル(継続)(府立医科大学研究支援課)

女性医学研究者がその能力を十分発揮し、出産・育児等で研究活動を中断することなく、しなやかに活躍できる基礎・臨床医学研究環境を整備した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 短時間勤務研究員制度(フューチャーステップ研究員制度)の試行実施 3名雇用	(1) 短時間勤務研究員制度(フューチャーステップ研究員制度)の継続実施 5名雇用
(2) 研究支援員雇用制度の継続実施 3名雇用	(2) 研究支援員雇用制度の継続実施 5名雇用
(3) 病児保育室の継続運営 平均利用人数 1.9人	(3) 病児保育室の継続運営 平均利用人数 1.7人
(4) 女性医師・研究者等を対象とする相談窓口の運用相談件数 4件	(4) 女性医師・研究者を対象とする相談窓口の運用
(5) 「医学部医学科卒業生就業状況調査」報告書の送付とそれによる周知	(5) 府民向けフォーラム開催、HPの充実等による広報啓発の拡充
(6) 4大学連携研究フォーラムでの啓発	
(7) HP充実等による広報啓発の実施	

2 男女共同参画についての理解の促進と教育・学習の充実

(1) 男女共同参画についての理解促進

多様な立場の府民が、男女共同参画についての理解を深められるような情報発信をする。

① KYOのあけぼのフェスティバル(継続)(男女共同参画課)

男女が社会の対等な構成員としてさまざまな活動に参画できる男女共同参画社会を推進するため、KYOのあけぼのフェスティバルを開催した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
開催日 平成25年10月26日 会場 京都テルサ（京都市南区） 内容 鼎談（山田啓二・京都府知事、佐村知子・内閣府男女共同参画局長、杉本節子・料理研究家）、あけぼの賞表彰式、ワークショップ、あけぼのバザール 等 参加者数 1,500名	開催日 平成26年11月8日 会場 京都テルサ（京都市南区） 内容 講演（演題：女性の活躍の場の拡大とワーク・ライフ・バランス、講師：佐藤博樹・中央大学大学院戦略経営研究科教授）、あけぼの賞表彰式、ワークショップ、あけぼのバザール 等 参加者数 1,500名

② 京都府あけぼの賞(継続)(男女共同参画課)

各分野で先駆的に活躍し、特に功績の著しい女性やグループに「京都府あけぼの賞」を授与した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
<p><あけぼの賞> 受賞者 6名 1団体 今井幸代（郷土（京）料理研究家） 木崎良子（ダイハツ陸上競技部選手） 玉井菜採（ヴァイオリニスト、東京藝術大学准教授） 福土加代子（ワコール女子陸上競技部選手） 藤野可織（小説家） 細井恵美子（社会福祉法人顧問（元施設長）） 特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク （子育て支援活動）</p> <p><あけぼの賞特別賞> 受賞者 3名 上杉孝實（京都大学名誉教授、元京都府男女共同参画審議会会長） 田中田鶴子（学校法人大和学園名誉学園長） クルム伊達公子（プロテニス選手）</p>	<p><あけぼの賞> 受賞者 3名 1団体 稲葉カヨ（京都大学理事・副学長） 上田萌（元卓球選手） 黒木華（女優） 恋茶グループ（和東茶を活用した食品製造・販売）</p>

③ KYOのあけぼの21の配信(継続)(男女共同参画課)

男女共同参画に関する情報をより多くの方に提供できるよう、府男女共同参画センターのホームページに掲載した。

④ KYOのあけぼのホームページ等の運営(継続)(男女共同参画課、男女共同参画センター)

ネットを通じた男女共同参画の普及啓発を図るため、男女共同参画課(KYOのあけぼのホームページ)及び府男女共同参画センターのホームページを運営した。

⑤ らら京都メールマガジンの配信(男女共同参画センター)(継続)(男女共同参画課)

府男女共同参画センターが実施する、男女共同参画の推進に関するセミナーやイベント等の情報をタイムリーに配信した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
毎月1回定期的に発行(定期:12回・号外:1回、平成24年5月から) 配信個人・団体数 4,697団体	毎月1回定期的に発行 配信個人・団体数 3,446団体(H26.12月末現在)

⑥ 情報提供事業(継続)(男女共同参画課)

府男女共同参画センターで、男女共同参画に関する様々な情報を提供した。

⑦ 男女共同参画に関する意見交換会(継続)(男女共同参画課)

幅広い団体との連携と相互交流を促進し、男女共同参画の推進を図るため、「男女共同参画に関する意見交換会」を開催した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
開催日 平成25年12月19日 場 所 京都府男女共同参画センター 出席団体数 22団体	開催日 平成27年2月27日 場 所 ホテルルビノ京都堀川 出席団体数 19団体

⑧ 京の女性活躍応援会議(継続)(男女共同参画課)

業種・活動分野を超えた多様な女性が集い、横断的なネットワークづくりと、コラボレーションにより地域の課題解決のための新たな取組を企画するため、京の女性活躍応援会議「京おんな☆プロジェクト」を開催した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
参加者:女性団体、企業で働く女性、起業者、NPO、地域活動団体、地域公共人材、市町村職員、学生 等 (1)全体会議 平成25年8月3日 京都平安ホテル 参加者数 79人 (2)南部会議① 平成25年8月24日 知恩院和順会館 参加者数 39人 (3)北部会議① 平成25年8月29日 綾部市ITビル 参加者数 27人 (4)北部会議② 平成25年9月20日 舞鶴赤れんがパーク 参加者数 25人 (5)南部会議② 平成25年9月21日 京都平安ホテル 参加者数 22人 計192人	参加者:女性団体、企業で働く女性、起業者、NPO、地域活動団体、地域公共人材、市町村職員、学生 等 (1)南部会議① 平成27年1月24日 京都府公館 参加者数 28人 (2)北部会議① 平成27年2月3日 舞鶴赤れんがパーク 参加者数 20人 (3)南部会議② 平成27年2月14日 京都府公館 参加者数 20人 (4)北部会議② 平成27年2月17日 舞鶴赤れんがパーク 参加者数 38人 計106人

⑨ 京都府子ども議会（継続）（青少年課）

子ども達が議員となり、府議会議場で議会を疑似体験することにより、地域の一員として主体的に考え、社会に参加する意識を育むとともに、京都府の議会や行政についての関心、理解を深めることを目的として「京都府子ども議会」を開催した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
開催日 平成25年8月7日 場 所 京都府議会議場 出席者 子ども議員 60名（府内に在住かつ在学の 小学5・6年生（これに相応する学籍の子を 含む）） 京都府：知事、副知事、教育長、 警察本部長、関係部局長	隔年開催のため、実績なし

(2) 男女共同参画に関する教育・学習の充実

学校等における男女共同参画に関する教育の充実を図る。

① 生涯学習総合推進事業（継続）（文化政策課）

府民の学習ニーズに対応する生涯学習情報を提供するため、京都生涯学習推進ネットワークの運営やインターネットホームページ「京都府生涯学習・スポーツ情報」による情報提供等を実施した。

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 京都生涯学習推進ネットワークの運営 (2) 「インターネット放送局生涯学習講座」の開設 アクセス件数 8,203件 8コース 280講座 (3) 「京の府民大学」の開設 9コース 913講座 (4) 「京都府生涯学習・スポーツ情報」による情報 提供 アクセス件数 3,096,071件 (5) 学習活動記録「生涯学習パスポート」の提供	(1) 京都生涯学習推進ネットワークの運営 (2) 「インターネット放送局生涯学習講座」の開設 アクセス件数 2,683件 8コース 323講座 (3) 「京の府民大学」の開設 9コース 745講座 (4) 「京都府生涯学習・スポーツ情報」による情報 提供 アクセス件数 2,355,578件 (5) 学習活動記録「生涯学習パスポート」の提供 (H26.11月末現在)

② スポーツ指導者育成事業（継続）（スポーツ振興課）

平成 25 年度実施結果	平成 26 年度実施状況
(1) 女性スポーツ指導者研修事業 女性スポーツ団体の育成及び府民スポーツの振 興を図るため、女性のスポーツ指導者を養成 実施回数 年2回 参加者数 475名 (2) スポーツクラブステップアップセミナー 主催 島津アリーナ京都（府立体育館） 実施回数 年11回 参加者数 318名 (府立体育館はH24.10月～H25.5月はリニューアルのため休館)	継 続